

榊原病院 Monthly

Vol.39 2020.January

独立行政法人国立病院機構 榊原病院
National Hospital Organization SAKAKIBARA Hospital

院長

村田 昌彦(むらた まさひこ)

1962年生まれ

1991年富山医科薬科大学医学部卒

1996年同医学部大学院卒

2014年国立病院機構北陸病院精神科部長

2015年国立病院機構榊原病院副院長を経て、2018年国立病院機構榊原病院院長就任。

日本司法精神医学会理事。



病院理念 この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

《令和の時代はどのような時代か》

院長 村田 昌彦

皆様あけましておめでとうございます。元号が令和に代わり、初めての年始となりました。慶賀すべき年始ではありますが、昨年末よりアフガニスタンで医療や灌漑に尽くしてこられた中村先生への銃撃、アメリカ軍によるイラン軍司令官の公然の暗殺やその報復など、不穏な様相を呈しています。不穏な状況は不安定であり、今後どうなるのかわからない不安を生じます。不安なときにどうすればいいでしょうか。「気にしない」鈍感力でやりきる方法や、思いつくところで解決を図っていく即決力で切り抜ける方法、不安を受け入れる方法など、いくつかの方法があるかと思います。

安定した状態であれば、鈍感力も即決力も効果はあるでしょう。しかし、混乱し流動的となった状況では鈍感であることで対応が遅れて窮地を招くことがあるでしょうし、即決した判断が正しくてもすぐ次の局面では誤った結果を招くこともあるでしょう。私たちは不安になるとその状況から回避したり、答えを得て安心したくなりますが、そうではなく、その不安な状況に耐える力を持つべきである、とするネガティブケイパビリティという考え方を帯木蓬生先生が提唱されています。不安を排除するために異質なものを排除すると、内向きな不寛容な社会になります。内向きな社会は皆同じようである安心できるかもしれませんが、皆同じところから新しいコト、モノが生まれるのでしょうか。社会が発展するには、異質なものを受け入れて飲み込み、新しいものを生み出すところから始まると思います。そのダイナミズムこそが発展の原動力になるでしょう。わが国でも明治維新の頃、外国の異質な文化を受け入れることで江戸時代から変革を成し遂げました。

今、私たちの社会は大きく変わろうとしています。少子高齢化が進み、急速に人口が減少しています。一方で外国からの流入人口が増え、職場やショッピングセンターで外国の方と接する機会が増えました。多様性が増している状況です。この変わりゆく状況で大切なことは異質の排除ではなく寛容であることです。無理にやさしくするのではなく、ちょっと背伸びするくらいでやさしい気持ちでいると、きっと過ごしやすくなるでしょう。それができれば不安に耐えるだけでなく、不安を受け入れて「あるがままに」過ごしやすくなるのではないのでしょうか。令和の幕開けは波乱で始まりましたが、私たち榊原病院の医療の理念は変わらず『この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である』です。時代が変わろうとこの理念や、良質な医療を行う志は普遍的であり、変わることはありません。今年も、そしてこれからもよろしく願いいたします。

トピックス

行事・出来ごと

- 令和元年11月24日、第13回榊原温泉秋の収穫祭参加
- 令和2年1月10日、鏡開き
- 令和2年1月26日、市民公開講座開催予定

教育・研修

- 令和元年12月18日、三重県難治性精神疾患ネットワーク研修会・症例検討会(YOU-C-C)開催
- 令和2年1月17日、自閉症・発達障害研修会開催予定(於:三重県総合文化センター)
- 令和2年1月22日、三重県難治性精神疾患ネットワーク研修会・症例検討会(YOU-C-C)開催予定

市民公開講座
QRコード

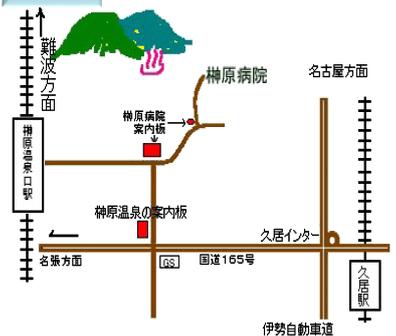


診療科

- ・ 一般精神科
- ・ アルコール・薬物依存症
専門外来
- ・ こころのリスク外来

病床数 176床

- ・ 精神科病棟 158床
- ・ 医療観察法 18床
- ・ 認知症ユニット



電車・バス / 近鉄久居駅下車、三交バス(榊原温泉口駅行)にて約30分。榊原口バス停下車徒歩約10分。

自動車 / 久居インター(伊勢自動車道)より西へ約20分

マイクロバス / 久居駅より直通バス(約25分)

地域医療連携室だより

〈医療福祉相談のご案内〉

経済的な心配、福祉サービスの利用、退院後の生活など病気によって生じた生活上の困り事について、精神保健福祉士がご相談に応じます。相談をご希望の方は、主治医、看護師及び医事受付まで申し出てください。

訪問看護ステーション

令和元年6月に「ゆうはあと訪問看護ステーション」を開設しました。利用者様が地域で安心して暮らしていただけることを目標として訪問看護を提供しています。症状の観察や相談・お薬の管理・通院継続の支援・対人関係・コミュニケーションへの支援など、心身の回復のお手伝いを目的として行っています。

私たち「ゆうはあと」は、あなたの療養、そして暮らしを支えます。少しでも豊かに、少しずつ豊かになりますようにここで支えます。

治療抵抗性精神疾患への医療

〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、令和元年12月までに全症例は93例となりました。新規導入は10月4例、11月2例、12月3例でした。順次投与を開始する予定です。クロザピン通院専門外来も開設しております。



認知症医療・アルコール・薬物依存医療・こころのリスク外来

〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に、認知機能が低下した方、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害のある方は、若年の方にも見られます。したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方にも見られます。身体的な問題については、三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状（BPSD）に対応しています。

一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。

〈アルコール・薬物依存医療〉

適正な飲酒量とはどの程度かご存知でしょうか？「節度ある適度な飲酒」とは、純アルコールで1日約20グラム程度、つまり日本酒なら1日1合、ビールなら大瓶1本だけなのです。日本酒3合では健康に悪影響の出る「多量飲酒」（健康日本21）と言われています。もし減らすことが難しいという方がおられましたら、外来・入院での治療プログラムにてご協力させていただきます。

お一人で、ご家族だけで悩み解決しようとするのではなく、まず専門スタッフへお気軽にご相談下さい。ご自分だけで抱えずに相談することが、病気を回復する第1歩です。

〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われています。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。



デイ・ケア案内

デイケアは毎週、木曜日を除く週4日、北病棟3階作業療法室奥で実施しています。実施時間は9時30分から15時30分です。榊原地区の自然を楽しむ町内散歩や、スポーツ、音楽、アートなど様々な楽しみごとを行います。昼食づくりやお菓子作り、喫茶の会など、実用的な体験もできます。参加者で協力しあって、コミュニケーションの練習も、がんばっています。

参加希望の方は主治医またはデイケア担当者にご連絡下さい。デイケアのパンフレットを外来待合室に置いてあります。また、病院ホームページに月間プログラムもあります。お気軽にお問い合わせ下さい。



(左) あけましておめでとうございます。デイケアの新年は射山神社への初詣、そして書き初めです。
(右) トーンチャイムの紹介です。演奏方法はボンとふるだけですが、きれいな音色です。

栄養コラム



《 「カロリーゼロ」なら安心？ 》

スーパーやコンビニでカロリーゼロの飲料をよく見かけるかと思いますが、しかし、本当にエネルギーはゼロでしょうか。実はエネルギーがあっても「ゼロ」と表示が出来るのです。この表示は健康増進法という法律に基づいています。その中で、カロリーゼロの飲料は100mlあたり5kcal未満であれば、「ゼロ」と表示しても良いことになっているのです。通常の飲料と比べるとエネルギーは低いように思われますが、飲み過ぎてしまうと本末転倒です。

ところで、なぜこんなに甘いのに低エネルギーなのでしょう？その理由は砂糖にかわって「低エネルギー甘味料」が使用されているからです。詳しくは次回のコラムでご紹介します。

健康睡眠12ヶ条 第十二条 眠れない、その苦しみをかかえずに、専門家に相談を

専門家に相談することが第一歩

- ・不眠は具合の悪さのバロメーター
- ・単に眠れないだけでなく、うつ病などの病気が隠れていることも
- ・長く続く不眠は一度専門家に相談してみても？

お薬は専門家の指示で使用しましょう

- ・睡眠薬は長期間飲まない
- ・最近では依存性の低いお薬もあります

薬に頼らない睡眠の改善を！

